



## クオンティフェロン<sup>QFT</sup>検査(ティースポット<sup>T-SPOT</sup>検査)とは

### 1. QFT検査(T-SPOT検査)について

QFT検査(T-SPOT検査)は、結核菌に特異的な抗原(ESAT-6、CFP-10等)を用い、結核菌に感染しているかを調べる検査です。これまで、29歳以下の人には、ツベルクリン反応検査を行い、感染の確認をしていましたが、ツベルクリン反応検査はBCG接種者にも反応するため、結核菌による感染かどうかの判断が困難でした。QFT検査(T-SPOT検査)は、ヒト型の結核菌に特異的に反応する検査のため、結核感染の診断をより正確に行えるようになりました。

### 2. 検査の対象者

保健所長が必要と認めた方

### 3. 検査の時期

検査は、患者さんとの最終接触から8週間以上経過してから行います。これは、結核菌に感染していても、QFT検査(T-SPOT検査)で陽性反応が出るまで8~12週間程度かかるためです。

### 4. 検査の結果

年齢や個人の免疫低下にかかわる病気等により、検査結果に影響する場合がありますため、QFT検査(T-SPOT検査)の結果と併せ、周囲に他の感染者や発病者がいないかどうか等から、総合的に感染の有無を判断します。

